

支所001	項目名	地域おこし協力隊事業費	新規事業
予算書項目	新市域特別振興費	ページ	169
年度	H28	所 属 名	国府町総合支所 地域振興課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】地域振興課 0857-39-0555		
款 総務費	【10次総の施策体系】3202		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】		
目 企画費	人口の減少や高齢化等が進行し、地域活動や経済活動が低迷する中、地域外の有効な人材を積極的に誘致し、その定住・定着を図ることで、意欲ある都市住民のニーズに応えながら、地域力の維持・強化を図っていく機運が高まっている。		
(単位:千円)	【事業の内容】		
前年度当初予算額	7,359	都市住民を受け入れ委嘱し、地域おこし活動の支援や農林業の応援、住民の生活支援など「地域協力活動」に従事してもらい、あわせてその地域への定住・定着を図りながら、地域の活性化に貢献。2名を配置。	
本年度要求額	7,038	◆活動内容	
総務部長段階査定額	7,010	・雨滝、殿ダム等豊富な地域資源を生かした地域活性化、利活用策の検討	
市長段階査定額	7,010	・滞在型グリーンツーリズムの事業化の企画提案	
区分	本年度予算額	・移住・定住の支援(空き家の活用等) など	
財源内訳	本年度予算額	【事業の実績】	
国・県支出金	0	隊員2名を採用	
地方債	0	平成27年度 3,761千円(見込み)	
その他	0	【市民ニーズの状況】	
一般財源	7,010	過疎化・高齢化の進む地域や、地域活性化事業を実施している地域において、都市住民の受け入れや地域への力になってもらうことへのニーズは高い。	
計	7,010		
行財政改革課処理欄			

支所002	項目名	まつりフェスタ補助金	新規事業
予算書項目	観光キャンペーン事業費	ページ	245
年度	H28	所 属 名	国府町総合支所 地域振興課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】産業建設課 0857-39-0560		
款 商工費	【10次総の施策体系】3202		
項 商工費	【事業の経過及び背景】		
目 観光費	「まつりフェスタ」は、平成4年度から殿ダム建設に伴う将来の湖水並びに周辺の河川を利用したイベントとして周辺住民の協力を得て始まった。以来、鳥取市内外から多数の参加者を迎え、今や国府地域を代表する観光イベントとして定着している。		
(単位:千円)	本事業は、豊かな自然と殿ダムの湖水を活用した地域が一体となるイベントを通して地域振興に資することを目的とし、国府地域の主要なイベントとして継続実施している。		
前年度当初予算額	1,944	【実施概要】	
本年度要求額	1,944	主 催：鳥取市国府町まつりフェスタ実行委員会	
総務部長段階査定額	1,944	時 期：平成28年5月29日(日)〈予定〉	
市長段階査定額	1,944	場 所：袋川(鳥取市国府町楠城地内)	
区分	本年度予算額	○マスつり大会	
財源内訳	本年度予算額	○マスのつかみどり(子ども対象)	
国・県支出金	0	○地域各種団体による特産品の販売等	
地方債	0	○連携イベント(雨滝、殿ダム)	
その他	1,048	【事業の実績】	
一般財源	896	平成25年度 1,944千円 参加者約 600人	
計	1,944	平成26年度 2,144千円 参加者約1,300人	
行財政改革課処理欄	平成27年度 1,944千円(見込み) 参加者約1,600人		
	【市民ニーズの状況】		
	事業アンケートでは大変好評で、継続を望む意見が多数。		
	*その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金		

支所003	項目名	万葉集朗唱の会開催費		新規事業
予算書項目	文化振興費	ページ	283	所 属 名
年度	H28	国府町総合支所 地域振興課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】地域振興課 0857-39-0555			
款 教育費	【10次総の施策体系】3301			
項 社会教育費	【事業の経過及び背景】			
目 文化振興費	国府地域では、万葉集を編さんした大伴家持が国守として赴任し、万葉集の最後を飾る歌を詠んだ地であることにちなみ、平成6年に因幡万葉歴史館を開館、以来「万葉のふるさと」としてまちづくりをすすめてきた。			
(単位:千円)	その一環として平成10年度から「万葉集朗唱の会」を開催してきており、県内外から多数の参加者を得て、万葉集への親しみや理解を深める機会として定着している。			
前年度当初予算額	1,900	【事業の内容】		
本年度要求額	1,900	共 催：万葉集朗唱の会実行委員会		
総務部長段階査定額	1,900	時 期：平成28年10月16日<予定>		
市長段階査定額	1,900	場 所：因幡万葉歴史館（伝承館）		
区分	本年度予算額	○万葉衣装に身を包み、大伴家持が詠んだ470余首からの朗唱（1～3首）		
国・県支出金	380	○曲水の宴、万葉茶席、万葉食コーナー、地産地消コーナーなど		
地方債	0	【事業の実績】		
その他	0	平成25年度 1,900千円 参加者約1,600人		
一般財源	1,520	平成26年度 1,900千円 参加者約1,700人		
計	1,900	平成27年度 1,900千円（見込み） 参加者約1,400人		
行財政改革課処理欄	【市民ニーズの状況】			
	事業アンケートでは好評で、継続を望む意見が多数。			

支所004	項目名	万葉フェスティバル開催事業費		新規事業
予算書項目	文化振興費	ページ	283	所 属 名
年度	H28	国府町総合支所 地域振興課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】地域振興課 0857-39-0555			
款 教育費	【10次総の施策体系】3301			
項 社会教育費	【事業の経過及び背景】			
目 文化振興費	国府地域では、万葉集を編さんした大伴家持が万葉集最後を飾る歌を詠んだ地であることにちなみ「万葉のふるさと」としてまちづくりをすすめてきた。			
(単位:千円)	「大伴家持大賞短歌募集事業」は、因幡万葉歴史館開館の平成6年から始まり、短歌愛好家の間では全国的に周知されることとなった。			
前年度当初予算額	3,400	平成21年の万葉集終焉から1250年を記念した「全国万葉フェスティバルin鳥取」を契機に、翌22年からは従来の「大伴家持大賞短歌募集事業」と「全国万葉フェスティバルin鳥取」の一部事業を統合し、さらに因幡の鳥取が重要な万葉故地であること、万葉のふるさと因幡の鳥取市を広く情報発信するため「万葉フェスティバルin鳥取」として実施している。		
本年度要求額	3,400	【事業の内容】		
総務部長段階査定額	3,400	共 催：新日本海新聞社		
市長段階査定額	3,400	時 期：平成28年10月16日<予定>		
区分	本年度予算額	場 所：国府町中央公民館<予定>		
国・県支出金	680	○短歌募集（選考会・審査発表会・表彰式）		
地方債	0	○シンポジウム、講演会		
その他	0	【事業の実績】		
一般財源	2,720	平成25年度 3,400千円 応募数4,017首（一般1,575首、児童生徒の部2,442首）		
計	3,400	平成26年度 3,400千円 応募数3,111首（一般1,646首、児童生徒の部1,465首）		
行財政改革課処理欄	平成27年度 3,400千円 応募数2,343首（一般1,521首、児童生徒の部 822首）（見込み）			
	【市民ニーズの状況】			
	事業アンケートでは好評で、継続を望む意見が多数。			

支所005	項目名	ウォークラリー大会実行委員会補助金	新規事業
予算書項目	体育大会費	ページ	297
年度	H28	所 属 名	教育委員会事務局 国府町分室
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】国府町分室 0857-39-0563		
款 教育費	【10次総の施策体系】1103		
項 保健体育費	【事業の経過及び背景】		
目 体育振興費	万葉ウォークラリー大会は、国府地域の豊かな自然と豊富な文化財を体験しながら心と身体の健康づくりができるイベントとして定着している。大人から子どもまでが気軽に参加できる自然体験型のイベントとして幅広い参加者を得て開催されており、地域の観光振興の推進はもとより、歴史と文化の町“こくふ”PRに寄与している。		
(単位:千円)	【事業の内容】		
前年度当初予算額	316	・主 催：鳥取市国府町万葉ウォークラリー実行委員会	
本年度要求額	264	・参加料：200円（中学生以下・65歳以上無料）	
総務部長段階査定額	264	・時 期：平成28年10月1日（土）＜予定＞	
市長段階査定額	264	・場 所：鳥取市国府町谷地区	
区分	本年度予算額	○史跡等チェックポイントを回るウォークラリー等	
財源内訳	国・県支出金	0	【事業の実績】
	地方債	0	平成25年度 316千円 参加者数53チーム、224人
	その他	0	平成26年度 316千円 参加者数75チーム、291人
	一般財源	264	平成27年度 264千円（見込み） 参加者数53チーム、201人
	計	264	【市民ニーズの状況】
			継続要望多数。
行財政改革課処理欄			

支所006	項目名	福部地域活性化推進事業費	新規事業
予算書項目	新市域特別振興費	ページ	169
年度	H28	所 属 名	福部町総合支所 地域振興課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】地域振興課 0857-75-2811		
款 総務費	【10次総の施策体系】2104		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】		
目 企画費	福部町には鳥取砂丘以外にも、豊かな自然や特産物、伝統行事などの魅力的な地域資源が多くある。このため、これら資源を有効的に活用し、地域の活性化を推進する。		
(単位:千円)	【事業の目的及び効果】		
前年度当初予算額	224	「ふくべ楽居大学」などが、福部の魅力を体感できる各種体験型のメニューを提供していくことで、福部地域のイメージアップや、観光者と地元住民との交流促進に繋げていく。	
本年度要求額	224	【事業の内容】	
総務部長段階査定額	222	体験メニュー実施経費及び楽居大学ホームページ管理経費等	
市長段階査定額	222	【事業の実績】	
区分	本年度予算額	平成25年度 240千円	
財源内訳	国・県支出金	平成26年度 201千円	
	地方債	平成27年度 117千円（見込み）	
	その他		
	一般財源		
	計		
行財政改革課処理欄			

支所007	項目名	らっきょう生産振興大会助成事業	新規事業
予算書項目	地域特産物振興対策事業費	ページ	233
年度	H28	所 属 名	
		福部町総合支所 産業建設課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】産業建設課 0857-75-2814		
款 農林水産業費	【10次総の施策体系】2104		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 らっきょう生産振興大会を開催し、生産者を中心に関係機関などが、現在抱えている課題、問題点等の解決策について協議・研修することにより、継続的な産地の維持発展を図る。		
目 農業振興費	【事業の目的及び効果】 生産農家が抱えている課題、問題点等の解決策について協議・研修し、産地の維持発展が期待できる。また、技術向上及び経営意欲の高揚の促進・生産振興・地域の活性化に寄与する。		
(単位:千円)	【事業の内容】(※新市域振興ビジョン対応事業)		
前年度当初予算額	276	・らっきょう生産振興大会開催に係る経費の一部助成	171千円
本年度要求額	193	・らっきょう販売開始の新聞広告料	22千円
総務部長段階査定額	193	合計	193千円
市長段階査定額	193	【事業の実績】	
区分	本年度予算額	平成25年度	197千円
財源内訳		平成26年度	1,192千円
国・県支出金	0	平成27年度	254千円(見込み)
地方債	0		
その他	0		
一般財源	193		
計	193		
行財政改革課処理欄			

支所008	項目名	各種団体負担金(むらづくり運動事業費、むらづくり大会補助金)	新規事業
予算書項目	各種団体負担金	ページ	281
年度	H28	所 属 名	
		教育委員会事務局 福部町分室	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】福部町分室 0857-75-2815		
款 教育費	【10次総の施策体系】3101		
項 社会教育費	【事業の経過及び背景】 合併以前からむらづくり運動推進協議会を結成し、長年にわたりむらづくり運動の重点課題を掲げ地域をあげて活動を推進している。		
目 社会教育総務費	【事業の目的及び効果】 むらづくり運動の中心となる協議会に活動経費の一部を助成することにより、住民による活気があり住みよい地域づくりを促進する。		
(単位:千円)	【事業の内容】 むらづくり運動推進協議会への補助金及び講師謝金		
前年度当初予算額	913	【事業の実績】	
本年度要求額	913	平成25年度	878千円
総務部長段階査定額	904	平成26年度	875千円
市長段階査定額	904	平成27年度	875千円(見込み)
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	904		
計	904		
行財政改革課処理欄			

支所009	項目名	鳥取砂丘らっきょう花マラソン開催費	新規事業
予算書項目	鳥取砂丘らっきょう花マラソン開催費	ページ	297
年度	H28	所 属 名	教育委員会事務局 福部町分室
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】福部町分室 0857-75-2815		
款 教育費	【10次総の施策体系】1103		
項 保健体育費	【事業の経過及び背景】		
目 体育振興費	本大会は、平成28年度で第30回を迎え、山陰海岸国立公園鳥取大砂丘と全国有数の生産を誇る鳥取砂丘らっきょうを全国にPRする目的で企画している。		
(単位:千円)	【事業の目的及び効果】		
前年度当初予算額	5,572	鳥取砂丘の自然とらっきょうの花の咲く中でさわやかな汗をながし、この大会を契機として体力づくりに励み、砂丘の里ふくべの文化、産業、観光等を広く全国に紹介し、これまでの成果と山陰海岸ジオパークの世界認定を記念し、さらなる参加者の増員を目的に名称・コースを変更し、だれでも気軽に参加できる健康マラソンを目指す。	
本年度要求額	2,930	また、広くらっきょうの里鳥取市をPRし、市の花をアピールする。	
総務部長段階査定額	2,930	【事業の内容】	
市長段階査定額	2,930	らっきょうの花が咲く10月の最終日曜日にマラソン大会を開催する。	
区分	本年度予算額	【事業の実績】	
国・県支出金	0	平成25年度	4,615千円 参加者1,295人
地方債	0	平成26年度	4,947千円 参加者1,491人
その他	800	平成27年度	5,380千円(見込み) 参加者1,450人
一般財源	2,130	* その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金	
計	2,930		
行財政改革課処理欄			

支所010	項目名	河原地域活性化推進事業費	新規事業
予算書項目	新市域特別振興費	ページ	169
年度	H28	所 属 名	河原町総合支所 地域振興課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】地域振興課 0858-76-3111		
款 総務費	【10次総の施策体系】4102		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】		
目 企画費	新市域の活性化を図るため地域振興機能を強化するとともに地域振興会議との連携による地域振興策を樹立し、地域住民との協働を基本とした地域振興策を確立する。		
(単位:千円)	【事業の内容】		
前年度当初予算額	240	事業名 安心安全まちづくり事業	
本年度要求額	240	「自分たちのまちは自分たちで守る」を合い言葉に、不審者対応として、青色防犯パトロールを行っている。また、踏査事業として、注意喚起のためにあいさつ標語のステッカーを各地区公民館等に配布し、安心安全なまちづくりを確立するための経費を計上している。	
総務部長段階査定額	240	事業内容	
市長段階査定額	240	1) あいさつ運動 64,800円	
区分	本年度予算額	2) 安心安全のぼり旗設置事業 25,900円	
国・県支出金	0	3) 青パト事業 10,800円	
地方債	0	4) 環境美化推進事業 29,419円	
その他	0	5) 安心安全踏査事業 108,324円	
一般財源	240	計 239,243円	
計	240	【事業の実績】	
行財政改革課処理欄	平成25年度 306千円		
	平成26年度 180千円		
	平成27年度 240千円(見込み)		
	【市民ニーズの状況】		
	防犯意識の高揚により民生児童委員も青パト事業に参加。		

支所011	項目名	河原城イベント企画事業費	新規事業												
予算書項目	観光活動費	ページ	245												
年度	H28	所 属 名													
		河原町総合支所 地域振興課													
会計名	事業の概要														
一般会計	<p>【問合せ先】 地域振興課 0858-76-3111</p> <p>【10次総の施策体系】 3202</p> <p>【事業の経過及び背景】 河原城は平成6年の設立当時から地域の拠点、シンボルとしての事業を展開してきた。地域に親しまれ、地域内外からの集客を図り、地域活性化の拠点となっている。</p> <p>【事業の目的及び効果】 観光客数や来場者数の減少が見込まれる中、行政、地域の各種団体と協働でイベントを実施することで、地域の活性化、まちおこしが図られる。また、平成26年9月に開館20周年を迎え、より一層の集客を図り、地域活性化に寄与する。</p> <p>【事業の内容】 河原の活性化、まちおこしを目的に、春の茶会は、チャリティー事業として収益を日赤等へ寄付している。 鳥取自動車道の開通に伴い県外からの集客が図られたこともあり継続して実施する。</p> <p>【事業の実績】</p> <table border="1"> <tr> <td>集客数</td> <td>茶 会</td> <td>月 見</td> </tr> <tr> <td>平成25年度</td> <td>995人</td> <td>682人</td> </tr> <tr> <td>平成26年度</td> <td>1,006人</td> <td>946人</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td>993人</td> <td>957人</td> </tr> </table> <p>【実施概要】 委託先 風土資産研究会 開催時期 ・茶 会 5月 ・月見会 9月から10月</p> <p>【市民ニーズの状況】 事業アンケートでは継続を望む意見が多数ある。</p>			集客数	茶 会	月 見	平成25年度	995人	682人	平成26年度	1,006人	946人	平成27年度	993人	957人
集客数	茶 会	月 見													
平成25年度	995人	682人													
平成26年度	1,006人	946人													
平成27年度	993人	957人													
(単位:千円)															
前年度当初予算額	1,420														
本年度要求額	1,420														
総務部長段階査定額	1,420	その他財源の内訳													
市長段階査定額	1,420	分担金	0												
		負担金	0												
		使用料	0												
		手数料	0												
		財産収入	0												
		寄付金	0												
		繰入金	0												
		贈収入	0												
		その他	0												
区分	本年度予算額														
財源内訳	国・県支出金	0													
	地方債	0													
	その他	0													
	一般財源	1,420													
	計	1,420													
行財政改革課処理欄															

支所012	項目名	フライトフェスティバル事業費	新規事業
予算書項目	観光キャンペーン事業費	ページ	245
年度	H28	所 属 名	
		河原町総合支所 地域振興課	
会計名	事業の概要		
一般会計	<p>【問合せ先】 地域振興課 0858-76-3111</p> <p>【10次総の施策体系】 3202</p> <p>【事業の経過及び背景】 平成6年から、河原のまちづくりの一環として、霊石山と千代川という立地条件を活かしたスカイスポーツの振興が図られてきた。今年度で19回目を迎え、秋のイベントとして定着している。</p> <p>【事業の目的及び効果】 全国に鳥取のかわはらと霊石山フライトエリアを広くPRするとともに、地元への経済効果や県内外と地元との交流が期待される。</p> <p>【事業の内容・実績】 ハングライダー、パラグライダーの競技会 平成25年度 400千円 参加者60名 平成26年度 315千円 参加者60名 平成27年度 350千円 参加者60名 (見込み)</p> <p>【市民ニーズの状況】 事業アンケートでは継続を望む意見が多数ある。</p>		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	350		
本年度要求額	350		
総務部長段階査定額	350	その他財源の内訳	
市長段階査定額	350	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	350	
	計	350	
行財政改革課処理欄			

支所013	項目名	あゆ祭補助金	新規事業
予算書項目	観光キャンペーン事業費	ページ	245
年度	H28	所 属 名	
		河原町総合支所 産業建設課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】産業建設課 0858-76-3115		
款 商工費	【10次総の施策体系】2202		
項 商工費	【事業の経過及び背景】		
目 観光費	河原町は古くから「あゆの町」として知られており、あゆの豊漁を願うと同時に、「あゆの町・かわはら」を広くPRするためにあゆ祭を開催するものである。平成28年で38回を迎え、夏の風物詩として定着しており、地元の経済効果も大いに期待されている。		
(単位:千円)	【実施の内容】		
前年度当初予算額	4,926	あゆのつかみ取り、鮎の塩焼き、川下りレース、子ども広場、子ども太鼓、女性太鼓、ステージショー、花火大会等	
本年度要求額	4,926	主催 あゆ祭企画実行委員会	
総務部長段階査定額	4,926	開催日 平成28年8月6日(8月第1土曜日)開催	
市長段階査定額	4,926	(参考:前年度実施日:平成27年8月1日)	
		(補足:鳥取市観光協会他、鳥取市内で開催される夏祭との日程調整が必要)	
区分	本年度予算額	【事業の実績】	
国・県支出金	0	平成25年度 補助金 4,926千円 入込客数 22,500人	
地方債	0	平成26年度 補助金 5,126千円 入込客数 20,500人	
その他	897	平成27年度 補助金 4,926千円 入込客数 23,000人	
一般財源	4,029	【市民ニーズの状況】	
計	4,926	地域住民には好評であり、継続を望む意見が多い。	
		* その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金	
行財政改革課処理欄			

支所014	項目名	町民スポーツの日開催費	新規事業
予算書項目	体育大会費	ページ	297
年度	H28	所 属 名	
		教育委員会事務局 河原町分室	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】河原町分室 0858-76-3122		
款 教育費	【10次総の施策体系】1103		
項 保健体育費	【事業の経過及び背景】		
目 体育振興費	平成12年度より実施。河原地域市民を対象として健康増進及び生涯スポーツの普及拡大を願い、子どもから高齢者までスポーツを楽しむ日として「町民スポーツの日」を設け、レクリエーションスポーツ大会を実施する。レクスポーツの日常生活への定着化により健康増進を目指す。		
(単位:千円)	【事業の内容】		
前年度当初予算額	152	生涯スポーツとしてレクリエーションスポーツ大会を開催し日常生活への定着を図る。	
本年度要求額	152	※グラウンドゴルフ場等でグラウンドゴルフ大会を開催。	
総務部長段階査定額	152	【事業の実績】	
市長段階査定額	152	平成25年度 150千円 参加者175人 6月15日 グラウンドゴルフ大会	
		平成26年度 152千円 参加者143人 6月14日 グラウンドゴルフ大会	
		平成27年度 152千円 参加者148人 6月7日 グラウンドゴルフ大会	
区分	本年度予算額	【市民ニーズの状況】	
国・県支出金	0	継続を希望する意見が多い。	
地方債	0		
その他	0		
一般財源	152		
計	152		
行財政改革課処理欄			

支所015	項目名	ジゲおこし事業費	新規事業
予算書項目	観光キャンペーン事業費	ページ	245
年度	H28	所 属 名	用瀬町総合支所 地域振興課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】地域振興課 0858-87-2111		
款 商工費	【10次総の施策体系】3202		
項 商工費	【事業の経過及び背景】 昭和63年度から住民・関係団体を中心としたボランティアの委員で構成する用瀬町ジゲおこし実行委員会が、補助金を活用し「用瀬ジゲおこし事業」の各種イベントを開催し地域の活性化を図っている。		
目 観光費	【事業の目的及び効果】 「流しびなの里」の用瀬の観光資源である山、川、用瀬宿の街並み、及び観光施設を活用したイベントに取り組むことで、用瀬地域の活性化と観光資源の掘り起しを図る。用瀬町地域の資源を活かしたイベントであり、県内外からの参加者も多く、地域活性化を図るうえで必要な事業である。		
(単位:千円)	【事業の内容】		
前年度当初予算額	1,424	用瀬山系トレイル交流大会	用瀬アルプス 4月実施予定
本年度要求額	1,424	夏の川遊びフェスティバル(カヌー)	千代川 7月実施予定
総務部長段階査定額	1,424	ふれあいフェスティバル	用瀬町運動公園 8月実施予定
市長段階査定額	1,424	春の川遊びフェスティバル(ラフト)	千代川 3月実施予定
区分	本年度予算額	【事業の実績】	
財源内訳		平成25年度 1,074千円(川遊び(夏・春)、ふれあいフェス)	
国・県支出金	0	平成26年度 1,424千円(川遊び(夏・春)、ふれあいフェス)	
地方債	0	平成27年度 1,424千円(トレイル交流、川遊び(夏・春)、ふれあいフェス)	
その他	0	【市民ニーズの状況】	
一般財源	1,424	実行委員会では、市民の参画度が大きくその満足度も大きい。	
計	1,424	イベント参加者からも好評を得ている。	
行財政改革課処理欄			

支所016	項目名	町民音楽祭開催費(用瀬町)	新規事業
予算書項目	市民音楽祭開催費	ページ	283
年度	H28	所 属 名	用瀬町総合支所 地域振興課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】地域振興課 0858-87-2111		
款 教育費	【10次総の施策体系】3301		
項 社会教育費	【事業の経過及び背景】 用瀬町の3月3日の恒例行事として、用瀬町の音楽団体・園児及び小学生が一堂に会し童謡を歌うもので、平成28年度は第29回を数え、用瀬町の春を告げる行事として定着している。この行事のシンボルでもある飾りびななどを展示するために建てられた「流しびなの館」で、出演者と参加者が一体になって童謡や唱歌を楽しく歌うことで、ふるさと用瀬のよさを再認識するとともに、日本の伝統的な心を深く感じ、行事を後世へ継承することと文化振興を図る。		
目 文化振興費	【事業の内容】 用瀬町の音楽団体や保育園、小学校等約10団体が参加し、用瀬町流しびなの館ふれあいホールで実施するもので、流しびなの里の春の恒例行事となっている。		
(単位:千円)	【委託予定先】 流しびなの館で童謡を歌う会		
前年度当初予算額	100	【事業の実績】	
本年度要求額	100	平成25年度 100千円 参加者数 約250人	
総務部長段階査定額	100	平成26年度 100千円 参加者数 約200人	
市長段階査定額	100	平成27年度 100千円 参加者数 約200人	
区分	本年度予算額	【市民ニーズの状況】	
財源内訳		実行委員会に参加する各種団体から継続の要望がある。	
国・県支出金	20		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	80		
計	100		
行財政改革課処理欄			



支所017	項目名 <b>用瀬流しびな行事</b>	新規事業																
予算書項目	観光活動費	ページ 245																
年度	H28	所 属 名 用瀬町総合支所 産業建設課																
会計名	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr><th colspan="2">事業の概要</th></tr> <tr><td colspan="2">【問合せ先】産業建設課 0858-87-3786</td></tr> <tr><td colspan="2">【10次総の施策体系】3302</td></tr> <tr><td colspan="2">【事業の経過及び背景】 毎年旧暦3月3日に無病息災を願って、千代川の河原で棧俵に男女一對の紙雛をのせて川に流す情緒豊かな民俗文化行事が実施され、それに合わせて観光イベントを実施することにより、地域の活性化を図る。</td></tr> <tr><td colspan="2">【事業の内容】 内 容：平成28年度の旧暦3月3日に実施される流しびな行事（2回）に要する費用の補助金（事業実施及び広報経費） 主 催：流しびな実行委員会 期 日：平成28年4月9日及び平成29年3月30日の（旧暦3月3日）</td></tr> <tr><td colspan="2">【事業の実績】 平成25年度 2,133千円 入込客数 6,000人 平成26年度 2,133千円 入込客数 8,000人 平成27年度 2,133千円 入込客数 5,500人</td></tr> <tr><td colspan="2">【市民ニーズの状況】 流しびな行事の保存について関心が高い。</td></tr> <tr><td colspan="2">【その他】 県の指定無形文化財（用瀬のひな送り）</td></tr> </table>		事業の概要		【問合せ先】産業建設課 0858-87-3786		【10次総の施策体系】3302		【事業の経過及び背景】 毎年旧暦3月3日に無病息災を願って、千代川の河原で棧俵に男女一對の紙雛をのせて川に流す情緒豊かな民俗文化行事が実施され、それに合わせて観光イベントを実施することにより、地域の活性化を図る。		【事業の内容】 内 容：平成28年度の旧暦3月3日に実施される流しびな行事（2回）に要する費用の補助金（事業実施及び広報経費） 主 催：流しびな実行委員会 期 日：平成28年4月9日及び平成29年3月30日の（旧暦3月3日）		【事業の実績】 平成25年度 2,133千円 入込客数 6,000人 平成26年度 2,133千円 入込客数 8,000人 平成27年度 2,133千円 入込客数 5,500人		【市民ニーズの状況】 流しびな行事の保存について関心が高い。		【その他】 県の指定無形文化財（用瀬のひな送り）	
事業の概要																		
【問合せ先】産業建設課 0858-87-3786																		
【10次総の施策体系】3302																		
【事業の経過及び背景】 毎年旧暦3月3日に無病息災を願って、千代川の河原で棧俵に男女一對の紙雛をのせて川に流す情緒豊かな民俗文化行事が実施され、それに合わせて観光イベントを実施することにより、地域の活性化を図る。																		
【事業の内容】 内 容：平成28年度の旧暦3月3日に実施される流しびな行事（2回）に要する費用の補助金（事業実施及び広報経費） 主 催：流しびな実行委員会 期 日：平成28年4月9日及び平成29年3月30日の（旧暦3月3日）																		
【事業の実績】 平成25年度 2,133千円 入込客数 6,000人 平成26年度 2,133千円 入込客数 8,000人 平成27年度 2,133千円 入込客数 5,500人																		
【市民ニーズの状況】 流しびな行事の保存について関心が高い。																		
【その他】 県の指定無形文化財（用瀬のひな送り）																		
一般会計																		
款 商工費																		
項 商工費																		
目 観光費																		
(単位:千円)																		
前年度当初予算額	2,133																	
本年度要求額	3,766																	
総務部長段階査定額	3,766	その他財源の内訳																
市長段階査定額	3,766	分担金 0																
		負担金 0																
		使用料 0																
		手数料 0																
		財産収入 0																
		寄付金 0																
		繰入金 0																
		贈収入 0																
		その他 0																
区分	本年度予算額																	
財源内訳	国・県支出金 753																	
	地方債 0																	
	その他 0																	
	一般財源 3,013																	
	計 3,766																	
行政改革課処理欄																		

支所018	項目名 <b>流しびなの里をめぐるエコツーリズム推進事業費</b>	新規事業 ○														
予算書項目	観光施設整備事業費	ページ 245														
年度	H28	所 属 名 用瀬町総合支所 産業建設課														
会計名	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr><th colspan="2">事業の概要</th></tr> <tr><td colspan="2">【問合せ先】産業建設課 0858-87-3786</td></tr> <tr><td colspan="2">【10次総の施策体系】2201</td></tr> <tr><td colspan="2">【事業の経過及び背景】 用瀬アルプスは急峻な地形で登山愛好者から親しまれ四季を通じて訪れる登山者も増えつつある。また、国土地理院による登山道調査の実施や「山の日」制定など、登山者のみならず広く関心を持たれている。今後はより多くの登山者受け入れることになるが、一方では、安全安心な登山道の整備が求められている。</td></tr> <tr><td colspan="2">【事業の目的及び効果】 用瀬アルプス周辺の貴重で個性のある自然を利用した登山やトレッキング等を観光の視点で捉えたエコツーリズム事業の実施と環境の整備により多くの登山者を呼び込み地域の振興を図る。</td></tr> <tr><td colspan="2">【事業の内容】 「流しびなの里をめぐるエコツーリズム」を推進し、用瀬アルプス（三角山から洗足山に至る山系）周辺を含め、市民との協働により観光資源として売り出すための環境の整備（登山道整備・道標・案内看板・避難小屋など）事業、また、登山ガイドの人材育成等に取り組む。</td></tr> <tr><td colspan="2">【市民ニーズの状況】 近年の豊かな自然の中での活動志向が高まっている現状がある中、県外から用瀬アルプスへの登山客も多く訪れておりニーズは高い。</td></tr> </table>		事業の概要		【問合せ先】産業建設課 0858-87-3786		【10次総の施策体系】2201		【事業の経過及び背景】 用瀬アルプスは急峻な地形で登山愛好者から親しまれ四季を通じて訪れる登山者も増えつつある。また、国土地理院による登山道調査の実施や「山の日」制定など、登山者のみならず広く関心を持たれている。今後はより多くの登山者受け入れることになるが、一方では、安全安心な登山道の整備が求められている。		【事業の目的及び効果】 用瀬アルプス周辺の貴重で個性のある自然を利用した登山やトレッキング等を観光の視点で捉えたエコツーリズム事業の実施と環境の整備により多くの登山者を呼び込み地域の振興を図る。		【事業の内容】 「流しびなの里をめぐるエコツーリズム」を推進し、用瀬アルプス（三角山から洗足山に至る山系）周辺を含め、市民との協働により観光資源として売り出すための環境の整備（登山道整備・道標・案内看板・避難小屋など）事業、また、登山ガイドの人材育成等に取り組む。		【市民ニーズの状況】 近年の豊かな自然の中での活動志向が高まっている現状がある中、県外から用瀬アルプスへの登山客も多く訪れておりニーズは高い。	
事業の概要																
【問合せ先】産業建設課 0858-87-3786																
【10次総の施策体系】2201																
【事業の経過及び背景】 用瀬アルプスは急峻な地形で登山愛好者から親しまれ四季を通じて訪れる登山者も増えつつある。また、国土地理院による登山道調査の実施や「山の日」制定など、登山者のみならず広く関心を持たれている。今後はより多くの登山者受け入れることになるが、一方では、安全安心な登山道の整備が求められている。																
【事業の目的及び効果】 用瀬アルプス周辺の貴重で個性のある自然を利用した登山やトレッキング等を観光の視点で捉えたエコツーリズム事業の実施と環境の整備により多くの登山者を呼び込み地域の振興を図る。																
【事業の内容】 「流しびなの里をめぐるエコツーリズム」を推進し、用瀬アルプス（三角山から洗足山に至る山系）周辺を含め、市民との協働により観光資源として売り出すための環境の整備（登山道整備・道標・案内看板・避難小屋など）事業、また、登山ガイドの人材育成等に取り組む。																
【市民ニーズの状況】 近年の豊かな自然の中での活動志向が高まっている現状がある中、県外から用瀬アルプスへの登山客も多く訪れておりニーズは高い。																
一般会計																
款 商工費																
項 商工費																
目 観光費																
(単位:千円)																
前年度当初予算額	0															
本年度要求額	5,545															
総務部長段階査定額	5,545	その他財源の内訳														
市長段階査定額	5,545	分担金 0														
		負担金 0														
		使用料 0														
		手数料 0														
		財産収入 0														
		寄付金 0														
		繰入金 0														
		贈収入 0														
		その他 0														
区分	本年度予算額															
財源内訳	国・県支出金 0															
	地方債 5,300															
	その他 0															
	一般財源 245															
	計 5,545															
行政改革課処理欄																

支所019	項目名	流しびなマラニック大会補助金	新規事業
予算書項目	体育大会費	ページ	297
年度	H28	所 属 名	教育委員会事務局 用瀬町分室
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】用瀬町分室 0858-87-2288		
款 教育費	【10次総の施策体系】1103		
項 保健体育費	【事業の経過及び背景】		
目 体育振興費	マラソンのように走ったり、ピクニック気分ですいたり、自分の体力に合わせて種目を選択できるマラニック大会。市民相互の健康づくり及び親睦、健全なスポーツ活動の振興を図るとともに、「流しびなの里用瀬」を広くPRすることを目的に開催し、本年度で第29回を迎える。		
(単位:千円)	自分の健康を楽しみながらのんびりと参加できる手軽さから人気を呼んでおり、今では赤ちゃんからお年寄りまで幅広い年齢層が参加している。		
前年度当初予算額	2,112	【事業の内容】	
本年度要求額	2,112	主催：もちがせ流しびなマラニック大会実行委員会 鳥取市 鳥取市教育委員会	
総務部長段階査定額	2,112	期日：平成28年5月15日(日)第3日曜日	
市長段階査定額	2,112	場所：流しびなの館周辺	
		種目：マラソン 10km・5km・3km	
		ウオーク 5km・3km	
区分	本年度予算額	【事業の実績】	
財源内訳		平成25年度 2,112千円 参加者1,501人	
国・県支出金	0	平成26年度 2,112千円 参加者1,370人	
地方債	0	平成27年度 2,112千円 参加者1,461人	
その他	587	【市民ニーズの状況】	
一般財源	1,525	事業アンケートでは好評で、継続を望む意見が多数。	
計	2,112	* その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金	
行財政改革課処理欄			

支所020	項目名	佐治地域活性化推進事業費	新規事業
予算書項目	新市域特別振興費	ページ	169
年度	H28	所 属 名	佐治町総合支所 地域振興課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】地域振興課 0858-88-0211		
款 総務費	【10次総の施策体系】3202		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】		
目 企画費	佐治地域の活性化を促進するため「元気が出る講演会」を開催。		
(単位:千円)	急速に進む過疎化対策や中山間地域振興対策のため旧佐治中学校校庭を芝生化し、地域コミュニティーの拠点とする。		
前年度当初予算額	2,120	また、地域課題の解決や地域活性化を促進する佐治地域振興推進員を配置する。	
本年度要求額	3,298	【事業の内容】	
総務部長段階査定額	3,298	・旧佐治中学校校庭の芝生化事業	
市長段階査定額	3,298	・元気が出る講演会の開催	
		・佐治地域振興推進員の配置	
区分	本年度予算額	【事業の実績】	
財源内訳		平成25年度 1,224千円	
国・県支出金	0	平成26年度 2,277千円	
地方債	1,400	平成27年度 2,120千円(見込み)	
その他	0	【市民ニーズの状況】	
一般財源	1,898	地域住民との協働事業として根付いている。	
計	3,298		
行財政改革課処理欄			

支所021	項目名	地域おこし協力隊事業費	新規事業
予算書項目	新市域特別振興費	ページ	169
年度	H28	所 属 名	佐治町総合支所 地域振興課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】地域振興課 0858-88-0211		
款 総務費	【10次総の施策体系】3202		
項 総務管理費	【事業の経過・背景】 都市住民を受け入れ、地域おこし協力隊員として委嘱し、一定期間以上、農地の耕作放棄地の再生・利活用推進支援、農産物や加工品の販売促進・移動販売・買い物支援活動、五つの地域資源の利活用促進活動等の地域協力活動に従事してもらいながら、佐治地域への定住・定着を図る取り組みについての必要な支援を行う。		
目 企画費	【事業の内容・実績】 ・事業期間 平成26年度～平成28年度（3年間） ・地域おこし協力隊事業（平成26年度より4人雇用）※今年度は3年目で最終年 ・平成26年度 10,632千円 ・平成27年度 11,517千円（見込み）		
(単位:千円)	【市民のニーズ】 地域おこし活動の支援や農林業の応援、住民の生活支援など「地域協力活動」に従事してもらいながら、併せて定住・定着を図る事は地域活性化に貢献し、住民のニーズも非常に高い。		
前年度当初予算額	12,646	* その他財源の諸収入は、農作物販売収入	
本年度要求額	14,021		
総務部長段階査定額	14,021	その他財源の内訳	
市長段階査定額	14,021	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		諸収入	20
		その他	0
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	20		
一般財源	14,001		
計	14,021		
行財政改革課処理欄			

支所022	項目名	ふるさとの味祭り事業費補助金	新規事業
予算書項目	むらづくり活性化推進事業費	ページ	231
年度	H28	所 属 名	佐治町総合支所 地域振興課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】地域振興課 0858-88-0211		
款 農林水産業費	【10次総の施策体系】2104		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 佐治地域の秋の収穫祭として、平成27年度は10月上旬の日曜日に実施。 平成27年度で33回目となり、総合支所・中央公民館周辺を会場に、農産物等展示即売・郷土芸能の発表・アトラクション、地元の地産地消グループの実演販売など、地域団体による実行委員会主催による多彩な行事を行った。佐治地域の秋のイベントとして定着しており、佐治地域内外の多くの方に参加を頂いている。		
目 農業総務費	【事業の内容】 第34回佐治ふるさと祭り 毎年10月上旬の日曜日に公民館祭りとして実施 主催 佐治ふるさと祭り実行委員会（地域団体で構成） 町内外からの参加者見込み 1,000人		
(単位:千円)	【事業の実績】 平成25年度 1,485千円 平成26年度 1,470千円 平成27年度 1,273千円（見込み）		
前年度当初予算額	1,395	【市民ニーズの状況】 地域住民との協働事業として根付いている。	
本年度要求額	1,350	* その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金	
総務部長段階査定額	1,350	その他財源の内訳	
市長段階査定額	1,350	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	725
		諸収入	0
		その他	0
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	725		
一般財源	625		
計	1,350		
行財政改革課処理欄			

支所023	項目名	文化振興費	新規事業
予算書項目	文化振興費	ページ	283
年度	H28	所 属 名	佐治町総合支所 地域振興課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】地域振興課 0858-88-0211		
款 教育費	【10次総の施策体系】3301		
項 社会教育費	【事業の経過及び背景】 佐治地域の宝である「佐治谷話」を保存伝承するため、佐治民話会への事業委託及び補助により佐治谷ばなし紙芝居や本の作成、小中学生への伝承活動、各地区公民館への普及活動など多様な事業を幅広く行ってきた。		
目 文化振興費	【事業の内容】 佐治民話会による保存伝承活動への補助		
(単位:千円)	【事業の実績】 平成25年度 279千円 平成26年度 25千円 平成27年度 25千円		
前年度当初予算額	25	【市民ニーズの状況】 今後も継続して、保存伝承が望まれている。	
本年度要求額	25		
総務部長段階査定額	25	その他財源の内訳	
市長段階査定額	25	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収金	0
		その他	0
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金	5	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	20	
	計	25	
行財政改革課処理欄			

支所024	項目名	地域おこし協力隊事業費	新規事業
予算書項目	新市域特別振興費	ページ	169
年度	H28	所 属 名	気高町総合支所 地域振興課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】地域振興課 0857-82-0011		
款 総務費	【10次総の施策体系】3202		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 鳥取市西商工会が中心となり、平成26年2月に「鳥取市西いなば地域の資源を生かした地域振興ランドデザイン」が策定された。このランドデザインを効果的かつ効率的に推進することを目的とし、地域経済団体関係者や行政関係者等で構成された「鳥取市西いなば地域振興協議会」が設立され、地域産業振興と地域活性化に取り組んでいる。		
目 企画費	【事業の内容・実績】 地域おこし協力隊員の配置2名（継続） ランドデザインの実現にむけ、その3本柱となる「道の駅整備の調査研究」「まちづくり会社設立準備」「ジオパークエリア拡大に伴う地域資源の利活用」の実施を支援する「地域おこし協力隊」を鳥取市西いなば（気高、鹿野、青谷）地域に配置する。 主な活動内容・実績 全国フットパス2015in鳥取西いなば事業 10月24日、25日 参加者延べ335名 山陰海岸ジオパーク活用企画 道の駅整備調査研究 特産品開発調査研究		
(単位:千円)	鳥取市西いなば（気高、鹿野、青谷）の交流促進、山陰道鳥取西道路の開通を見据えたイベントとして、西いなばをめぐるスタンプラリーを3地域の総合支所や関係機関と連携して開催する。		
前年度当初予算額	6,516	【市民ニーズの状況】 鳥取西道路開通や山陰海岸ジオパーク拡大を好機と捉え、地域活性化に向けて都市住民の受け入れれやまちづくり活動の支援へのニーズは高い。	
本年度要求額	6,342		
総務部長段階査定額	6,342	その他財源の内訳	
市長段階査定額	6,342	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収金	0
		その他	0
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	6,342	
	計	6,342	
行財政改革課処理欄			

支所025	項目名	貝がら節まつり補助金	新規事業
予算書項目	観光キャンペーン事業費	ページ	245
年度	H28	所 属 名	気高町総合支所 地域振興課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】地域振興課 0857-82-0011		
款 商工費	【10次総の施策体系】2201		
項 商工費	【事業の経過及び背景】 気高町を代表する夏祭り、貝がら節踊りや民謡貝がら節のふるさとを広くPRするとともに、交流人口の拡大を図るために開催している。		
目 観光費	【事業の目的及び効果】 山陰海岸ジオパークエリア拡大により地域資源を再発信するなど、観光客の誘客を図り、地域住民と協働し祭りを盛り上げ、地域活性化につなげる。また、地元への経済効果や交流人口の拡大が期待できる。		
(単位:千円)	【事業の内容・実績】 貝がら節総踊り、大水中花火大会、屋台村、芸能ステージ、船屋台パレードなど 平成25年度 補助金4,207千円 延べ参加者6,000人 平成26年度 補助金4,107千円 延べ参加者5,750人 平成27年度 補助金3,977千円 延べ参加者6,500人		
前年度当初予算額	3,977	【市民ニーズの状況】 気高町の一大大祭りとして、定着している。今後も継続実施を望む声は多い。	
本年度要求額	3,977	* その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金	
総務部長段階査定額	3,977	その他財源の内訳	
市長段階査定額	3,977	分担金	0
区分	本年度予算額	負担金	0
財源内訳	国・県支出金	使用料	0
	地方債	手数料	0
	その他	財産収入	0
	一般財源	寄付金	0
	計	繰入金	952
		雑収入	0
		その他	0
行財政改革課処理欄			

支所026	項目名	陸達大堤うぐい突き補助金	新規事業
予算書項目	各種団体補助金負担金	ページ	245
年度	H28	所 属 名	気高町総合支所 地域振興課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】地域振興課 0857-82-0011		
款 商工費	【10次総の施策体系】2201		
項 商工費	【事業の経過及び背景】 気高町陸達地区にある大堤池は農業用水として利用しており、毎年春に鯉や鮒を放流し、秋には池の底にたまった泥やごみなどを取り除くとともに、放流した魚を捕獲するため水抜きを行っている。この魚を捕獲する漁法が「うぐい突き」と呼ばれ、東南アジアから朱印貿易を通じて400年以上前に伝えられたとされている。「うぐい漁」の様子は、平成25年3月から国立歴史民俗博物館に常設展示されている。		
目 観光費	【事業の目的及び効果】 「うぐい突き」行事をととして、大堤池の歴史や保全の必要性、地域の伝承行事と農業の関わりなどについて、市民の関心を高め、次世代に引き継いでいくことを目的に陸達大堤うぐい突き保存会が毎年実施している。		
(単位:千円)	【事業の内容・実績】 ・稚魚放流(4月、10月) 鯉の稚魚を約200匹放流(逢坂小学校生徒参加) ・イベント開催(10月) 平成25年度 補助金93千円 延べ参加者300人 平成26年度 補助金200千円 延べ参加者500人 平成27年度 補助金93千円 延べ参加者600人		
前年度当初予算額	93	【市民ニーズの状況】 伝統漁法の伝承を望むニーズは高く、地域住民をはじめ逢坂小学校、逢坂むらづくり協議会などと連携しながら事業継続を図っていく。	
本年度要求額	93	その他財源の内訳	
総務部長段階査定額	93	分担金	0
市長段階査定額	93	負担金	0
区分	本年度予算額	使用料	0
財源内訳	国・県支出金	手数料	0
	地方債	財産収入	0
	その他	寄付金	0
	一般財源	繰入金	0
	計	雑収入	0
		その他	0
行財政改革課処理欄			

支所027	項目名	貝がら節の郷づくり協議会補助金	新規事業
予算書項目	各種団体補助金負担金	ページ	245
年度	H28	所 属 名	気高町総合支所 地域振興課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】地域振興課 0857-82-0011		
款 商工費	【10次総の施策体系】2201		
項 商工費	【事業の経過及び背景】		
目 観光費	浜村温泉街の再生を図るため、平成22年度から地域の活性化につなげる事業を実施し、「貝がら節のふるさと」である気高町を内外に向けてPRしている。		
(単位:千円)	気高町文化祭実行委員会が開催していた「気高ときめき祭り」を平成28年度から当協議会が主体となって開催し、より地域活性化を図る。		
前年度当初予算額	1,518	【事業の目的及び効果】	
本年度要求額	2,368	「貝がら節」をキーワードに、気高地域の発展を目指し、観光客の誘致を促進し、もって鳥取市の観光振興を図る。	
総務部長段階査定額	2,368	【事業の内容・実績】	
市長段階査定額	2,368	≪平成25年度≫ 若手芸術家を中心とする地元ボランティアが、京都造形芸術大学と協働で砂像制作を実施した。また、浜村、逢坂のまちづくり協議会と交流を行った。	
区分	本年度予算額	≪平成26年度≫ 気高地域を主舞台に制作された短編映画「平穏な日々、奇蹟の陽」や「ようこそ浜村」の上映会を開催した。また、「生姜と温泉と健康」をテーマにした「しょうがぼかぼかフェスタ2015」を開催した。	
財源内訳		≪平成27年度≫ 気高地域を主舞台に制作された映画「幻の漁火」や立体アニメーションを上映する「浜村温泉映画祭」を開催した。また、「生姜と温泉と健康」をテーマにした「しょうがぼかぼかフェスタ2016」を開催した。	
国・県支出金	473	【市民ニーズの状況】	
地方債	0	民謡「貝がら節」のふるさとをはじめ、浜村温泉、しょうがなど地域の特色を活かしたまちづくりの推進や新たな芸術文化による取組みに対するニーズは高く、市民と協働したまちづくり活動を推進していく。	
その他	0		
一般財源	1,895		
計	2,368		
行財政改革課処理欄			

支所028	項目名	気高スカロップ杯中学校バレーボール大会補助金	新規事業
予算書項目	気高スカロップ杯中学校バレーボール大会補助金	ページ	299
年度	H28	所 属 名	教育委員会事務局 気高町分室
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】気高町分室 0857-82-1411		
款 教育費	【10次総の施策体系】1103		
項 保健体育費	【事業の経過及び背景】		
目 体育振興費	平成8年度より気高町長杯として開催。平成16年度の市町村合併後に気高スカロップ杯と名称変更し、鳥取市バレーボール協会主催で実施している。		
(単位:千円)	【事業の目的及び効果】		
前年度当初予算額	500	市内の中学生にトップレベルのバレーボールの実践の機会を与え、技術力の向上とスポーツマン精神の高揚を図ると共に、県外選手との親睦を深める。バレーボールの町気高町として町民の関心も高く、バレーボール協会の地元会員が中心となって大会運営に関わる事で地域の活性化が図られる。また、選手役員が宿泊することにより経済的効果もある。	
本年度要求額	500	【事業の内容・実績】	
総務部長段階査定額	500	中国、四国各県から選抜された男女各12チームによるトナメント戦。平成27年度に第20回記念大会を開催予定。	
市長段階査定額	500	◎平成25年度 平成26年3月22日(土)・23日(日) 400名参加 男子優勝=気高(鳥取市)、準優勝=大嶺(山口市) 女子優勝=口田(広島市)、準優勝=南(鳥取市)	
区分	本年度予算額	◎平成26年度 平成27年3月21日(土)・22日(日) 450名参加 男子優勝=大川(香川県)、準優勝=大東(雲南市) 女子優勝=口田(広島市)、準優勝=気高(鳥取市)	
財源内訳		◎平成27年度 平成28年3月26日(土)・27日(日)開催予定	
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	500		
計	500		
行財政改革課処理欄			

支所029	項目名	鹿野地域活性化推進事業費	新規事業
予算書項目	新市場特別振興費	ページ	169
年度	H28	所 属 名	鹿野町総合支所 地域振興課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】地域振興課 0857-84-2011		
款 総務費	【10次総の施策体系】3101		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 鹿野地域の活性化を図ることを目的に「市民と総合支所の協働」を基本とした事業を実施することにより、鹿野地域の振興を図る。		
目 企画費	【事業の目的及び効果】 地域住民が地域づくりに参画し、地域振興策を実施することにより地域の一体感の醸成と地域の活性化を図る。		
(単位:千円)	【事業の内容・実績】 鹿野地域は「四季薫るまち鹿野」を基本理念として、協働のまちづくりを進めている。地域住民の方や鹿野を訪れた方に四季の花を通じて、人がふれあい、安らぎとゆとりを感じることができるまちを目指す。春は菜の花・レンゲ・芝桜、夏は蓮、秋はコスモスなど年間を通して景観形成に取り組む。平成28年度は、旧議場を活用し「しかの議場劇場」として映画の上映会を開催し、交流人口の増加による地域の活性化を図る。		
前年度当初予算額	835	平成25年度 488千円 平成26年度 607千円 平成27年度 723千円(見込み)	
本年度要求額	1,086		
総務部長段階査定額	941	鹿野地域は「四季薫るまち鹿野」を基本理念として、協働のまちづくりを進めている。地域住民の方や鹿野を訪れた方に四季の花を通じて、人がふれあい、安らぎとゆとりを感じることができるまちを目指す。春は菜の花・レンゲ・芝桜、夏は蓮、秋はコスモスなど年間を通して景観形成に取り組む。平成28年度は、旧議場を活用し「しかの議場劇場」として映画の上映会を開催し、交流人口の増加による地域の活性化を図る。	
市長段階査定額	941	平成25年度 488千円 平成26年度 607千円 平成27年度 723千円(見込み)	
区分	本年度予算額	【各会場の特徴】 街なみ、中央公民館、河川公園、鳥の劇場の4会場で、それぞれの特徴を踏まえたイベントを実施する。4会場を結ぶ導線を構築し、来場者の回遊性を確保する。	
財源内訳		・街なみ会場 伝統的町屋(個人宅)を開放して展示会場、喫茶休憩所、商品展示場として活用する。	
国・県支出金	0	・中央公民館会場(展示期間5日間) 文化芸術活動に励んでいる住民の書道や陶芸等の作品展示をする。	
地方債	0	・鳥の劇場会場 文化芸術活動に励んでいる住民のコーラスや演舞などのステージ発表の会場とする。	
その他	0	・河川公園会場 ええもん市では、地元の農家が生産した野菜、特産品や農産加工物の即売市を行う。	
一般財源	941	【事業の実績】 平成25年度 来場者 690人 事業費 1,114千円 (台風の影響により中央公民館会場のみ開催)	
計	941	平成26年度 14,000人 2,721千円 平成27年度 14,600人 2,541千円	
行財政改革課処理欄			

支所030	項目名	わたったいな祭事業費	新規事業
予算書項目	観光キャンペーン事業費	ページ	245
年度	H28	所 属 名	鹿野町総合支所 地域振興課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】地域振興課 0857-84-2011		
款 商工費	【10次総の施策体系】3202		
項 商工費	【期日】平成28年10月中旬～下旬(予定)		
目 観光費	【会場】鹿野町鹿野城下町地区他 街なみ会場、中央公民館会場、河川公園会場、鳥の劇場会場		
(単位:千円)	【事業の目的】 住民団体と行政とがお互いに連携を取り合い、協働によるまちの活性化を目指す。具体的には、地元の集落やグループなどが気軽にイベントに参加できる体制をつくり、賑わいを創出するとともに交流人口を増やし、住民の地域づくりの意識向上と経済の活性化を図る。		
前年度当初予算額	2,769	【各会場の特徴】 街なみ、中央公民館、河川公園、鳥の劇場の4会場で、それぞれの特徴を踏まえたイベントを実施する。4会場を結ぶ導線を構築し、来場者の回遊性を確保する。	
本年度要求額	2,771	・街なみ会場 伝統的町屋(個人宅)を開放して展示会場、喫茶休憩所、商品展示場として活用する。	
総務部長段階査定額	2,771	・中央公民館会場(展示期間5日間) 文化芸術活動に励んでいる住民の書道や陶芸等の作品展示をする。	
市長段階査定額	2,771	・鳥の劇場会場 文化芸術活動に励んでいる住民のコーラスや演舞などのステージ発表の会場とする。	
区分	本年度予算額	・河川公園会場 ええもん市では、地元の農家が生産した野菜、特産品や農産加工物の即売市を行う。	
財源内訳		【事業の実績】 平成25年度 来場者 690人 事業費 1,114千円 (台風の影響により中央公民館会場のみ開催)	
国・県支出金	0	平成26年度 14,000人 2,721千円 平成27年度 14,600人 2,541千円	
地方債	0		
その他	0		
一般財源	2,771		
計	2,771		
行財政改革課処理欄			

支所031	項目名	観光イベント開催補助金(鹿野桜まつり花火大会)		新規事業	○
予算書項目	各種団体補助金負担金	ページ	245	所 属 名	
年度	H28	鹿野町総合支所 地域振興課			
会計名	事業の概要				
一般会計	【問合せ先】地域振興課 0857-84-2011				
款 商工費	【10次総の施策体系】3202				
項 商工費	【事業の目的・概要】 鹿野城跡公園の桜まつりと隔年開催の「鹿野祭」にあわせた観光イベントとして花火大会を支援するとともに、観光鳥取を広く情報発信することにより、交流人口の増加を図る。春の花火大会は全国的に珍しく、写真家や花火愛好家などの方に人気が高く、「鹿野祭」の大祭が醸し出す伝統的な雰囲気により、春の一大イベントになっている。				
目 観光費	【事業の実績】 平成22年度 910千円 平成24年度 910千円 平成26年度 910千円				
(単位:千円)					
前年度当初予算額	0				
本年度要求額	910				
総務部長段階査定額	910	その他財源の内訳			
市長段階査定額	910	分担金	0		
		負担金	0		
		使用料	0		
		手数料	0		
		財産収入	0		
		寄付金	0		
		繰入金	0		
		贈収入	0		
		その他	0		
区分	本年度予算額				
財源内訳	国・県支出金	0			
	地方債	0			
	その他	0			
	一般財源	910			
	計	910			
行財政改革課処理欄					

支所032	項目名	町民音楽祭開催費(鹿野町)		新規事業	
予算書項目	市民音楽祭開催費	ページ	283	所 属 名	
年度	H28	鹿野町総合支所 地域振興課			
会計名	事業の概要				
一般会計	【問合せ先】地域振興課 0857-84-2011				
款 教育費	【10次総の施策体系】3301				
項 社会教育費	【事業の内容】 鹿野町民音楽祭実行委員会が主体として開催するふるさとミュージカルは、昭和62年にはじまり、多数住民が参画しながら継続して開催され、地域を代表するイベントとして、またレベルの高い芸術活動として内外から認知されるようになった。 活動着手以来30周年を迎える今回は、活動のさらなる定着を目指して地域内指導者の育成や市内舞台芸術団体との連携強化に努め、プロとアマチュアが協働して創り上げる鳥取スタイルの市民ミュージカルとして県内外への情報発信を強化し、今度は自分たちで演出を行うことを目指している。 制作期間は約半年間に及び、この間展開される広い年齢層の市民交流は、今後の良好な市民コミュニティづくりに於いても貢献できることが期待される。 地域の文化芸術振興・魅力ある地域づくり・多世代間交流の促進による住民コミュニティの醸成等を総合的に支援するため継続した活動補助を行う。 *平成28年度事業				
目 文化振興費	【事業名】 第30回ふるさとミュージカル 「さくら姫物語」予定制作上演事業 【事業期間】 ※上演期日 平成28年9月下旬 【事業場所】 鳥取市民会館(上演場所) 【事業主体】 鹿野町民音楽祭実行委員会 【総事業費】 6,000千円				
(単位:千円)					
前年度当初予算額	3,200	【事業の実績】 平成25年度 3,200千円 782人(2回公演) 会場 鹿野町農業者トレーニングセンター 平成26年度 3,200千円 381人(2回公演) 鳥の劇場 平成27年度 3,200千円(見込み1回公演) 鳥取市民会館			
本年度要求額	3,200	* その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金			
総務部長段階査定額	3,200	その他財源の内訳			
市長段階査定額	3,200	分担金	0		
		負担金	0		
		使用料	0		
		手数料	0		
		財産収入	0		
		寄付金	0		
		繰入金	1,590		
		贈収入	0		
		その他	0		
区分	本年度予算額				
財源内訳	国・県支出金	0			
	地方債	0			
	その他	1,590			
	一般財源	1,610			
	計	3,200			
行財政改革課処理欄					



支所033	項目名	スポーツクラブ鹿の助委託金		新規事業
予算書項目	総合型地域スポーツクラブ育成事業費	ページ	299	所 属 名
年度	H28	教育委員会事務局 鹿野町分室		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】鹿野町分室 0857-84-2131			
款 教育費	【10次総の施策体系】1103			
項 保健体育費	【事業の内容】			
目 体育振興費	健康づくりを第一とした総合型地域スポーツクラブ「鹿の助スポーツクラブ」の支援。トレーニングルーム等の利用促進、スポーツをしていない人でも気軽に参加できる教室・健康・体力づくりをメインテーマとしたスポーツ教室等の開催を委託する。高齢者、団塊世代、若年者の健康・体力づくり教室の開催を中心に委託する。（ストレッチ教室、柔道教室、トレーニングルーム等を利用した健康教室）			
(単位:千円)	【事業の実績】			
前年度当初予算額	267	平成25年度	266千円 延べ1,158人	柔道、健康づくりピクス
本年度要求額	267	平成26年度	267千円 延べ1,805人	柔道、健康づくりピクス、トレーニング機器指導
総務部長段階査定額	267	平成27年度	267千円 (見込み)	柔道、トレーニング機器指導
市長段階査定額	267	その他財源の内訳		
区分		本年度予算額	分担金	0
財源内訳	国・県支出金	0	負担金	0
	地方債	0	使用料	0
	その他	0	手数料	0
	一般財源	267	財産収入	0
	計	267	寄付金	0
行財政改革課処理欄			繰入金	0
			雑収入	0
			その他	0

支所034	項目名	日中韩高校生国際交流事業		新規事業
予算書項目	国際交流促進費	ページ	169	所 属 名
年度	H28	青谷町総合支所 地域振興課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】地域振興課 0857-85-0011			
款 総務費	【10次総の施策体系】3202			
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】			
目 企画費	青谷地域の国際化推進と青谷高校生をはじめとする青少年の国際理解を通じた人材育成を図るため、10月下旬、青谷高校を会場に開催。交流都市として友好を深めている中国太倉市から明德高等学校の生徒等と、1996年の交流協議を経て過去19年にわたり交流を続けている韓国居昌郡の居昌中央高等学校から生徒等を招致し、地域資源を活かし、地域とのふれあい・体験の場を提供して、地域住民とも関わりながら友好交流を深めていく。			
(単位:千円)	【事業の目的及び効果】			
前年度当初予算額	864	地域と一体となった交流を進めることにより国際理解意識を高め、国際交流の機会を与える。中国と韓国から訪問団を4日間にわたって受け入れ、周辺地域の視察を行いながら、若者同士の交流も図る。		
本年度要求額	864	学校間だけでなく、地域住民と積極的に関わりを持ちながら、直接外国の若者の意見を聞ける場やふれあう場を提供し、国際理解教育と国際交流の推進を図る。		
総務部長段階査定額	813	【事業の内容・実績】		
市長段階査定額	813	平成25年度	決算額 395千円	9月26日実施(24日~27日) 韓国5名(その他15名)受入
区分		本年度予算額	平成26年度	決算額 409千円
財源内訳	国・県支出金	0	平成27年度	決算額 864千円 (見込み)
	地方債	0	9月25日実施(23日~26日) 韓国5名(その他16名)受入	
	その他	0	10月29日実施(27日~30日) 韓国5名(その他16名)受入	
	一般財源	813	中国4名 受入	
	計	813	その他	
行財政改革課処理欄				

支所035	項目名	青谷オープン卓球大会補助金	新規事業
予算書項目	地域振興対策費	ページ	169
年度	H28	所 属 名	青谷町総合支所 地域振興課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】地域振興課 0857-85-0011		
款 総務費	【10次総の施策体系】3202		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 人口減少がますます進み、高校の在り方が検討されている今、地域と連携した特色ある学校づくりが求められている。そのため、「卓球のまち青谷（昭和60年わかとり卓球競技会場）」、「卓球の青谷高校（インターハイ30回出場）」として名をさせた「卓球」を青谷町の資源として再認識する。		
目 企画費	【事業の目的及び効果】 青谷オープン卓球大会を開催することにより、鳥取市内の中学生に広く卓球実践の機会を与え、技術の向上とスポーツ精神の高揚をはかり、心身ともに健全な中学生の育成を目指す。また、青谷高等学校（卓球部OB等）、地域住民など地域を挙げて大会の企画運営にかかわることにより、地域活性化を図る。		
(単位:千円)	【事業の内容・実績】 近府県（鳥取県以外）の中学校で、各府県卓球連盟から推薦を受けたチームと青谷中学校、鳥取県選抜チームを対象とした男女別の団体戦リーグ戦を行う。また、卓球の技術向上を目指し、小中高、一般向けの講習会を実施する。 平成27年度見込額 500千円 平成27年度参加チーム数 男子12チーム・女子9チーム		
前年度当初予算額	500	その他財源の内訳	
本年度要求額	500	分担金	0
総務部長段階査定額	500	負担金	0
市長段階査定額	500	使用料	0
区分	本年度予算額	手数料	0
財源内訳	国・県支出金	財産収入	0
	地方債	寄付金	0
	その他	繰入金	0
	一般財源	贈収入	0
	計	その他	0
行財政改革課処理欄			

支所036	項目名	青谷地域活性化推進事業費	新規事業
予算書項目	新市域特別振興費	ページ	169
年度	H28	所 属 名	青谷町総合支所 地域振興課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】地域振興課 0857-85-0011		
款 総務費	【10次総の施策体系】3202		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 ◆青谷地域は地域資源が豊富であり、青谷の自然、歴史文化などの魅力を次代に継承すべく様々な活動に地域住民主体で取り組んでいく必要がある。そのため、各地域づくり団体が連携して取り組んでいる活動団体組織である「青谷地域づくり連絡協議会」を中心に青谷地域全体の取り組みとして盛り上げていく。 ◆青谷地域を代表する伝統工芸品「因州和紙」を市内外に発信するため、市民の和紙工芸グループ制作の因州和紙工芸品を展示紹介するPR事業を行う。		
目 企画費	【事業の目的及び効果】 青谷地域づくり連絡協議会が重点的に取り組む地域振興事業に対して補助をする。また、和紙工芸グループの協力による因州和紙PR事業を行い地場産業の振興と交流人口の拡大を図る。さらに、鳥取西道路開通による周遊入込客増加に向け、西部地域の活性化に繋げていく。		
(単位:千円)	【事業の内容・実績】 ◆青谷地域づくり連絡協議会事業 ①因州和紙活用活動（夢灯ろう点灯事業） ②環境美化運動 ③鳴り砂保全活動 ④ふるさとPR活動 ⑤長尾鼻自然保全活動 ⑥青谷上寺地遺跡学習活動 ⑦スタンドアップパドルボード体験（新規） ◆因州和紙PR事業 平成25年度決算額 655千円 平成26年度決算額 996千円 平成27年度決算額 824千円（見込み）		
前年度当初予算額	824	その他財源の内訳	
本年度要求額	1,024	分担金	0
総務部長段階査定額	924	負担金	0
市長段階査定額	924	使用料	0
区分	本年度予算額	手数料	0
財源内訳	国・県支出金	財産収入	0
	地方債	寄付金	0
	その他	繰入金	0
	一般財源	贈収入	0
	計	その他	0
行財政改革課処理欄			

支所037	項目名	青谷地域にぎわい創出事業補助金		新規事業
予算書項目	観光キャンペーン事業費	ページ	245	所 属 名
年度	H28	青谷町総合支所 地域振興課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】地域振興課 0857-85-0011			
款 商工費	【10次総の施策体系】3202			
項 商工費	【事業の経過及び背景】			
目 観光費	平成16年11月の合併以前から文化祭と産業祭を兼ねた「青谷ようこそまつり」を開催してきたが、ここ数年市民からマンネリ化の声とともに地域に賑わいを生み出す事業への転換を求める意見も多く聞かれるようになった。また、伝統産業である因州和紙の後継者の育成が進まず、産地としての存続が危ぶまれている。こうした背景を踏まえ、この度「青谷ようこそまつり」を全面的に見直し、まちなかへの賑わいの誘導を目的とした定期的なイベントの開催による周遊型の「青谷ようこそ市場（通称：「あおいち」）開催事業」へ事業転換するとともに、因州和紙活性化のさらなる強化を目指した「青谷因州和紙産地強化事業」の2事業に分割した「青谷地域にぎわい創出事業」に事業見直しを行う。			
(単位:千円)	【事業の目的及び効果】			
前年度当初予算額	3,701	地域資源である和紙の魅力に特化した事業とし、観光面での集客を図るとともに、新たなイベントにより今後の展開を探る。		
本年度要求額	3,016	【事業の内容】		
総務部長段階査定額	3,016	実行委員会補助		
市長段階査定額	3,016	①「青谷因州和紙産地強化事業」		
区分	本年度予算額	事業期間：適宜実施（イベント関連は10月）		
国・県支出金	0	事業場所：主会場 あおや和紙工房 その他		
地方債	0	事業概要：因州和紙を使った書道展、書道パフォーマンス、和紙ファッションショーなど、対外的なPR事業 ※和紙あかり展など和紙工房企画展との連携		
その他	1,365	②「青谷ようこそ市場（通称：「あおいち」）開催事業」		
一般財源	1,651	事業期間：毎月第4日曜日 11時～13時 6月から11月（予定）		
計	3,016	事業場所：青谷町駅前 通称：青谷賑わい広場（青谷ようこそ館前）		
行財政改革課処理欄		事業概要：◆青谷町内で生産、加工された製品の販売・試食 ◆有志及び園児、生徒、学生によるパフォーマンスなど		
		* その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金		

支所038	項目名	観光イベント開催補助金(観光キャンペーン事業分)		新規事業
予算書項目	各種団体補助金負担金	ページ	245	所 属 名
年度	H28	青谷町総合支所 地域振興課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】地域振興課 0857-85-0011			
款 商工費	【10次総の施策体系】3202			
項 商工費	【事業の経過及び背景】			
目 観光費	28年度で18回目の開催となるフォトコンテストは、19年度より交流人口の拡大を目指し、エリアを西部地域（青谷・気高・鹿野）に拡大して開催し、定着したイベントとなっている。また、20年度より公募型の事業を実施し、地域住民によるまちづくりや地域活性化を図っている。			
(単位:千円)	【事業の目的及び効果】			
前年度当初予算額	679	「西いなば再発見フォトコンテスト」を開催する鳥取市西商工会青年部に補助金を助成することで、鳥取市西部地域のPR及び地域の活性化、商工業の振興を図る。		
本年度要求額	779	また、公募事業については、地域住民から企画を募集しイベント等を実際に実施してもらったり、素材を発信してもらうことで市民の意識改革に繋がる。		
総務部長段階査定額	779	【事業の内容・実績】		
市長段階査定額	779	○事業主体 鳥取市西商工会青年部・公募団体		
区分	本年度予算額	○内 容 鳥取市西部地域の地域・観光資源をテーマにフォトコンテストを実施。その中に青谷の伝統工芸品である「因州和紙の部」を設け、因州和紙を印刷紙に使用し、作品を展示することで和紙の持つ魅力をアピールしている。		
国・県支出金	0	公募分については、地域住民からの新たな提案を積極的に募集していく。		
地方債	0	○補助金の額		
その他	0	平成25年度 700千円		
一般財源	779	平成26年度 679千円		
計	779	平成27年度 679千円（見込み）		
行財政改革課処理欄				

支所039	項目名	青谷ようこそ夏まつり事業費	新規事業
-------	-----	---------------	------

予算書項目	観光キャンペーン事業費	ページ	245
-------	-------------	-----	-----

所 属 名	青谷町総合支所 産業建設課
-------	------------------

年度	H28
----	-----

会計名	一般会計
款	商工費
項	商工費
目	観光費

(単位:千円)	
前年度当初予算額	615

本年度要求額	1,000
--------	-------

総務部長段階査定額	1,000
-----------	-------

市長段階査定額	1,000
---------	-------

区 分	本年度予算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	1,000
計	1,000

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
雑収入	0
その他	0

行財政改革課処理欄
-----------

### 事業の概要

【問合せ先】地域振興課 0857-85-0011

【10次総の施策体系】3202

#### 【事業の経過及び背景】

27年度で18回目の開催となる夏のイベント「あおや夏まつり」は、継続して実施することで多くの地域住民に認知され、親しまれるイベントとなっている。28年度から「青谷ようこそ夏まつり」として事業拡大を目指す。

#### 【事業の目的及び効果】

観光振興及び商業振興を目的とするが、この事業を拡大し、イベントを広く住民参加型にすることや西いなば全体での広域的な取組みにしていけることにより、更なる交流人口の増加および地域振興を図ることができる。また鳥取西道路開通を間近に控える中、西いなばの重要なイベントにすることにより、今後の青谷町への入込客数拡大につなげることができる。

#### 【事業の内容・実績】

- (1) 事業主体 青谷ようこそ夏まつり実行委員会
- (2) 内 容 ステージイベント、屋台などの会場イベント  
平成28年度は若手を中心とした新しい実行委員会による体制等の整備や、新規企画を取り入れた事業実施に伴う経費を支援する。
- (3) 実 績  
平成25年度：入場者実績 2,000人 決算額 633千円  
平成26年度：入場者実績 2,000人 決算額 615千円  
平成27年度：入場者実績 2,200人 決算額 615千円